

2025年10月30日

「オープン・カレッジばいであ」受講生のみなさま

和光大学

地域連携研究センター長 角尾 宣信

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また本学の大学開放事業にご理解を賜り、積極的に受講いただき、誠に有難うございます。

さて、2026年度以降の大学開放事業「オープン・カレッジばいであ」につきまして、大規模な改革を行うこととなりましたので、お知らせ致します。

本学は知的資産を広く地域社会に開放し、地域社会の知的活性化と文化の向上に寄与することを自らの責務と定めて参りました。今年度、本理念の実効性を一層向上すべく、学長や「オープン・カレッジばいであ」を担当する大学開放フォーラム代表と、検討を重ねて参りました。その結果、下記のように改革し、現在本学の専任教員および非常勤講師が持つ知的資産を、より一層、地域社会に開放し得る運営にシフトすることと致しました。

#### <2026年度以降の改革内容>

- ・和光大学の講師陣の教育研究をこれまで以上に地域社会に開放するため、開講時期は学生の休業期間(夏季休業、冬季休業および春季休業)を原則とします
- ・講座回数を、これまでのように年20回または半期10回を中心にしたスクール形式から、1回から4回程度を1講座として短期化し、イベント形式で開講します。
- ・より多くの市民の方が参加できるように、大学だけではなく、和光大学ポプリホール鶴川など、駅に近くアクセスも容易な施設を活用してまいります。
- ・イベント形式への移行により、従来のような年度ごとのパンフレットによる講座のご案内ではなく、イベントごとのご案内となります。

市民の皆様への大学開放事業は、次年度以降、以上のように改革致します。大きな改革であることは十分承知しておりますが、既存の運営システムでは、本学で学生の教育に携わっている先生方の講座開講が難しく、大学開放の理念が十全に実現していない、という懸念が常にごございました。もちろん、これまで開講して参りました「オープン・カレッジばいであ」講座は、この改革内容に形を変えて引き続き開講させていただく方向で検討しております。

また、来年度以降は、本学に勤務する専任教員および非常勤講師がこれまで以上に講座を開講することが可能になりますので、より多くの、様々な講座が開講される予定です。これら新たに開講される講座に関しましても、随時情報をご連絡致しますので、受講のほど、ご検討いただきたく存じます。

受講生の皆さまにおきましては、長年に渡り「オープン・カレッジぱいでいあ」講座を受講いただき、誠に有難うございます。このようなお知らせに戸惑われる向きもあるかと思いますが、来年度の開講講座の予定に関しましても決定次第、随時ご連絡いたします。またご不明な点等ございましたら、お気軽に事務局（企画課）にお問い合わせください。

1987年から始まった「和光移動大学」を源流として、30年以上に渡り形を変えながら今日までその流れを続けられていることは、ひとえに皆さまのご理解とご支援に依るものです。改めて深く御礼申し上げます。「ぱいでいあ」（ギリシア語で「育成・教養」という意味）という名称のとおり、教養を通じて互いに成長し合う知的交流の場を目指していくことは今後も変わりません。

引き続き、ますます魅力のある講座をご提供できるように模索してまいりますので、今後ともご理解と温かいご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

お問合せ先：企画課企画係  
TEL：044-988-1433 / FAX：044-988-1594  
E-mail：open@wako.ac.jp